

公 表 日
平成 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	肝属川水系浸水想定区域図検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大隅河川国道事務所長 加藤 仁志 鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1
契約年月日	平成28年 3月14日
契約業者名	(株) 東京建設コンサルタント
契約業者の住所	鹿児島県鹿児島市上荒田町12-8
契約金額	34,948,800円(税込み)
予定価格	37,768,032円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	鹿児島県肝属郡肝付町 外
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成28年 3月15日
履行期間(至)	平成28年 9月30日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約課程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 肝属川水系浸水想定区域図検討業務
2. 履行場所 鹿児島県肝属郡肝付町 外
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
会社名：株式会社東京建設コンサルタント 九州支社
電 話：(092)432-8000

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」に基づき、想定し得る最大規模の降雨による肝属川水系の浸水解析を実施し、浸水想定区域及び家屋倒壊危険ゾーン等の設定を行い、関連市町村が実践的な洪水ハザードマップを作成するために必要となる基礎情報の作成・整理を行う業務である。

2) 業務の内容

本業務は、①計画準備・・・1式、②流出モデルの検討・・・1式、③浸水解析に用いる計算メッシュデータの作成・・・1式、④浸水解析・・・1式、⑤洪水時家屋倒壊危険ゾーンの作成・・・1式、⑥その他外力による浸水解析・・・1式、⑦既往浸水想定区域との比較検討・・・1式、⑧洪水浸水想定区域図の作成・・・1式⑨浸水被害の整理・・・1式、⑩報告書とりまとめ・・・1式を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を31者が入手（ダウンロード）し、7者から参加表明書が提出され、7者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針」において、実施手順、有益な代替案の理解度が最も優れた評価であり、特定テーマ1「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」に基づく、肝属川水系における浸水想定区域及び家屋倒壊ゾーン設定上の留意点について」の地形、環境、地域特性などとの与条件との整合性と着眼点、問題点、解決方法の有効性が高く、提案内容を裏付ける類似実績、提案内容に説得力があり最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大隅河川国道事務所 調査第一課長